

<補助資料> 評価の実際と指導の改善(例) 【思考・判断・表現】

単元名：米づくりのさかなな地域(第5学年、11時間扱い)



1 単元の評価規準【思考・判断・表現】

- ①生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見だし、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。
- ②食料生産と国民生活を関連付けて、食料生産が国民生活に果たす役割や食料生産に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業の発展について自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。

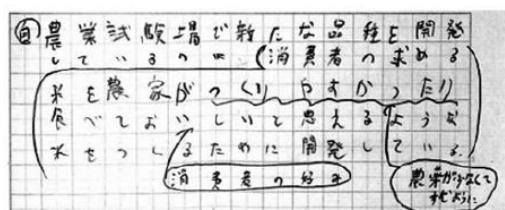
2 評価の実際

<例1> 第5時【思考・判断・表現①】

*中心となる問い 「農業試験場では、なぜ新たな品種を開発しているのだろうか」

*評価方法：ノートの記述内容や発言内容から「品種改良された米の特徴や試験場の人々の取り組みを根拠に、生産者や消費者にとっての品種改良の利点を考えているか」を評価する。

*評価の工夫：思考している姿については「考え」と「根拠」がどのように結びついているかを見取ることが必要。根拠となる資料からの用語や語句などの情報を吹き出しに書かせ、思考過程を見取るようにした。



*児童の記述

(D児)新たな品種を開発しているのは、寒さに強い米をつくらせているから。

(E児)新たな品種を開発しているのは、消費者が求める米をつくり、食べてもらえるようにするため。

*教師の評価と指導

「事実の羅列にとどまり、工夫や努力にも目を向けられていない」と評価。「品種改良は誰のためになるのか」を意識できるように支援。

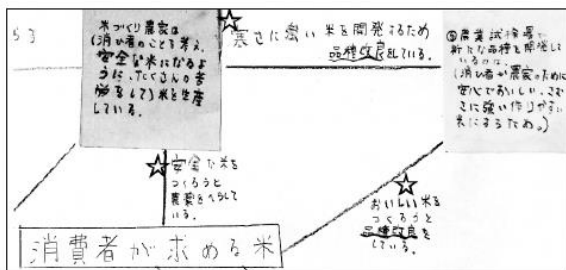
「品種改良の目的を一面的に考えている」と評価。「消費者や生産者の願い」を意識させて品種改良の意味を捉えることができるように支援。

<例2> 第8時【思考・判断・表現②】

*中心活動：これまで学習してきた、「農家の生産工程」「農業機械の導入」「品種改良」「農業協同組合や共同経営」「消費地への輸送」の関連を考え図にまとめる。

*評価方法：関連図の記述内容から、「学習したことを基に、農業の仕組み、工夫や努力について考えたことを説明しているか」を評価する。

*児童が表現した関連図



*教師の評価

☆農業に見られる仕組み、工夫や努力について、学習したことを基に役割や働きを考え記述している。
→「おおむね満足できる」状況(B)

☆農業に見られる仕組み、工夫や努力について、学習したことを基に役割や働きを考えていることに加え、
★国民生活の向上や、携わる人の思いや願いも考え記述している。
→「十分満足できる」状況(A)

単元名： 事故や事件から人々の安全を守る(第3学年、8時間扱い)



1 単元の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

- ①事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ②学習したことを基に、地域の安全を守るために自分たちができようことを考えようとしている。

2 評価の実際

<例1> 第1時【主体的に学習に取り組む態度①】

*授業のねらい：火災の学習を振り返り、事故や事件から地域の安全を守るための働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようになる。

*評価方法：発言の内容やノートの記述から、「前単元『火災から人々の生活を守る』の追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。

*児童の発言の内容やノートの記述から

火災の時は、だれが、どこで、どのようなはたらきをしているかという視点で、教科書で調べたり、見学したりして解決したよ。事故や事件も、同じ視点で見ればいいと思う。きっと、けいさつや地いきの人々のはたらきがあると思う。教科書や見学をとおして解決したい。



*教師の評価と指導

- 「火事の時は…」や「同じ視点で…」などの記述から、前単元の学習状況を振り返っている。
- さらに調べるべきことを考え、学習問題の予想や学習計画を立てている。
- 「おおむね満足できる」状況(B)

※「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、前単元の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

<例2> 第7時【主体的に学習に取り組む態度①】

*授業のねらい：前単元と本単元の学習を振り返り、地域の安全を守る働きについて、さらに調べるべきことを見いだすことができるようになる。

*評価方法：発言内容やノートの記述内容から、「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。

*児童の発言内容やノートの記述内容から

今まで地いきの安全を守るために、だれが、どこで、何をしているか調べた。地いきの安全を守るために多くの人が工夫や努力をしてくれている。自分たちは多くの人に守られているけど、自分たちにもできることがあるのではないだろうか。次はその問題を解決したい。



*教師の評価と指導

- 今までの2つの単元の学習状況を振り返っている。
- さらに調べるべき課題を見いだしている。
- 「おおむね満足できる」状況(B)

※「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、「この人たちの働きだけで安全は守られる?」と問い、次時解決すべきことに気付くことができるよう指導した。

<例3> 第8時【主体的に学習に取り組む態度②】

*授業のねらい：地域の安全を守るために、自分たちができようことを考えようとする態度を養う。

*評価方法：「安全宣言」の記述内容から、「学習したことを基に安全を守るためにできようことを考えようとしているか」を評価する。

*児童の「安全宣言」の記述内容から

事件や事故から安全を守るために、たくさんの方がはたらいていた。私も地いきの一員として、地いきで行われるひなん訓練に参加したい。また、火事や事故を起こさないように、火のあつかいに注意したり、交通ルールを守ったりしたい。



*教師の評価と指導

- 学習したことを基に考えている。
- 地域の一員として自分ができることを考えている。
- 「おおむね満足できる」状況(B)

※「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、友達との対話を通して、自分たちにできようことを考えることができるように支援した。